**総合的な学習（柚香学習）での講義 実施報告書**
**「森の働きと柚野の動植物」**

令和４年11月11日

**1　実施日時**　令和4年11月11日（金） 13:30 ～15:30
**2　実施場所**　柚野中学校
**3　担当講師**　NPO 森林インストラクターしずおか 佐野文彦
**4　参加者**　87 人（中学生）
**5　概要**

富士宮市立柚野中学校の鈴木教諭から、柚野中学校で取り組んでいる総合的な学習（柚香）での講義依頼があった。この「総合的な学習」は、自分が住む地域に関心を持ち、興味を持って調べ、中学生として地域に貢献したいと思う姿勢を身に付けるために行っているものである。今回は森の大切さ、自然の不思議さ、働きについて理解を深め、今後の追求活動に生かす目的で行った。

2年生 33 名が教室に集まり、1年生、3 年生はリモートで受講した。タイトルは「森の働きと柚野の動植物」と題し、講義はパワーポイントを使って行った。内容は、日本の森（人工林）の歴史、森の公益的機能、里山、柚野の動植物、里山復元等について 50 分間講義し、10 分の質疑応答を行った。具体的には、森林が抱える大きな問題は何か？ 天然林は放置すべきか？ 紅葉のしくみは？ 等についてであった。1 時間の講義終了後に質疑応答を行った。生徒が自己課題を追求している中で疑問に思っている内容について、5 名の生徒から質問がありそれに答えた。内容はナラ枯れの原因、放置林の対応、太陽光パネルによる自然への影響、森の手入れの仕方、柚野の土砂崩れ場所等であった。

講義では、生徒は盛んにメモを取り、熱心に聴いてくれた。質疑応答も時間を超過して活発に行われ、森や地域の自然を知るよい機会になったものと思われた。

なお、本内容は平成４年 11 月 18 日付の地元新聞「岳南朝日」に掲載された。

講義風景

生徒個別相談

（佐野 記）